

令和5年度

決算等審査意見書

特別区競馬組合監査委員

6 特競監第 80 号
令和 6 年 9 月 3 日

特別区競馬組合
管理者 近 藤 や よ い 様

特別区競馬組合
監査委員 田 辺 裕 子
監査委員 大 沢 た かし

令和 5 年度特別区競馬組合競馬事業決算等の審査意見について

地方公営企業法第 30 条第 2 項及び地方公共団体の財政の健全化に関する法律第 22 条第 1 項の規定により審査に付された令和 5 年度特別区競馬組合競馬事業の決算等について審査したので、その結果について次のとおり意見を提出します。

なお、審査にあたって、池田 裕一前監査委員職務執行者は令和 6 年 6 月 17 日まで関与し、大沢 たかし監査委員は令和 6 年 6 月 18 日から関与しています。

目 次

令和5年度特別区競馬組合競馬事業決算審査意見書	1
第1 審査の概要	1
1 審査の対象	1
2 審査の期間	1
3 審査の手続	1
第2 審査の結果	1
1 決算諸表について	1
2 決算計数について	1
第3 意見	3
第4 決算の概要	8
1 事業実績について	8
2 予算執行状況について	12
3 経営成績（前年度比較）について	16
4 財政状態について	18
5 特別区分配金、交付金について	20
令和5年度決算に基づく特別区競馬組合一般会計資金不足比率審査意見書	22

注) 表中の執行率、増減率、構成比および占有率の各欄の数値は、小数点以下第2位を四捨五入している。
そのため、構成比、占有率の合計欄は、内訳の合計と合わない場合がある。

決算審査意見書

令和5年度特別区競馬組合競馬事業決算審査意見書

第1 審査の概要

1 審査の対象

(1) 決算書類

- ア 令和5年度 特別区競馬組合競馬事業決算報告書
- イ 令和5年度 特別区競馬組合競馬事業損益計算書
- ウ 令和5年度 特別区競馬組合競馬事業剰余金計算書
- エ 令和5年度 特別区競馬組合競馬事業剰余金処分計算書（案）
- オ 令和5年度 特別区競馬組合競馬事業貸借対照表

(2) 附属書類

- ア 令和5年度 特別区競馬組合競馬事業報告書
- イ 令和5年度 特別区競馬組合一般会計キャッシュ・フロー計算書
- ウ 令和5年度 特別区競馬組合一般会計収益費用明細書
- エ 令和5年度 特別区競馬組合一般会計資本的収支明細書
- オ 令和5年度 特別区競馬組合競馬事業固定資産明細書

2 審査の期間

令和6年6月7日（金）から同年9月3日（火）まで

3 審査の手続

決算審査は、管理者から提出された決算書類等が、特別区競馬組合競馬事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかどうかを検証するため、会計帳票、証拠書類の照合等及び監査委員による説明聴取などの方法により実施した。また、地方公営企業法第3条の基本原則に基づく経済性の発揮、特別区の財政への寄与という視点をもって本事業の考察を行った。

第2 審査の結果

1 決算諸表について

審査に付された決算書類、附属書類は、関係法令の規定に適合して作成されているものと認められる。

2 決算計数について

決算書類、附属書類の計数は、関係諸帳簿及び証拠資料を照合審査した結果、適正であると認められる。

令和5年度における当組合の収益的収支は、表1のとおり、収入が2,214億8,100万5,130円、支出は2,033億8,578万8,527円で、収入から支出を差し引いた純利益は、180億9,521万6,603円となっている。

また、表3のとおり、資本的収入は1億1,265万7,941円、資本的支出は9億9,136万3,800円である（収支差額は、損益勘定留保資金により補填）。

以上のとおり、当組合の財政運営は概ね適正に行われ、所期の目的に沿って着実に執行され成果をあげており、健全な財政状況を維持していると認められる。

表1 収益的収支総括 (単位：円)

	収益的収入決算額	収益的支出決算額	収支差額
金額	221,481,005,130	203,385,788,527	18,095,216,603

表2 収益的収支決算対前年度比較 (単位：円)

	令和5年度	令和4年度	増減額	増減率
収益的収入	221,481,005,130	209,689,928,326	11,791,076,804	5.6%
収益的支出	203,385,788,527	191,667,766,205	11,718,022,322	6.1%
収支差額	18,095,216,603	18,022,162,121	73,054,482	0.4%

表3 資本的収支総括 (単位：円)

	資本的収入決算額	資本的支出決算額	収支差額
金額	112,657,941	991,363,800	△ 878,705,859

表4 資本的収支決算対前年度比較 (単位：円)

	令和5年度	令和4年度	増減額	増減率
資本的収入	112,657,941	0	112,657,941	皆増
資本的支出	991,363,800	224,501,378	766,862,422	341.6%
収支差額	△ 878,705,859	△ 224,501,378	—	—

第3 意見

1 地方競馬を取り巻く状況

昨年5月に新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という。）が感染症法上5類感染症に移行し、行動制限がなくなり社会・経済活動が活発化している。一方、感染症の流行によって生じた社会活動や個人生活の変化も顕著になり、これに対応した取組が今後の重要な課題となっている。先に政府が公表した月例経済報告（令和6年7月分）では、国内の景気判断を、「景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している」としているが、記録的な円安、物価・人件費の高騰、また自然災害や異常気象等の経済に与える影響など、市場等の動向に十分注意していく必要がある。

令和5年度は競馬開催にあたって大井競馬場内の入場制限が撤廃され、入場者数も増え、競馬開催ごとに様々なイベントが展開され活気を取り戻してきたが、感染症流行以前の入場者数には至っていない。

感染症流行下において在宅投票により飛躍的な伸びを続けてきた、公営競技の令和5年度の開催成績は、中央競馬、地方競馬、競艇、競輪、オートレースすべてにおいて売上に伸び悩みが見られるようになり、一部前年度実績を下回る競技が出ている。

競馬事業に関していえば、中央競馬の総売得金額は3兆2,754億円余で、これを開催日数で割り返した1日平均売得金額113億7,315万円余は前年比0.7%の増でほぼ横ばいとなっている。

対して、地方競馬の総売得金額は1兆888億円余で、1日平均売得金額8億2,364万円余は前年度比2.1%の増で、前年度に引き続き1兆円を超え過去最高を更新した。

2 経営成績

令和5年度特別区競馬組合の営業利益は、184億9,181万3,305円で、前年度比0.8%増であった。営業外収支、特別利益、特別損益を計上した最終的な純利益は180億9,521万6,603円で、前年度と比べ7,305万4,482円の増益である。

なお、令和5年度年間売上2,070億7,896万4,150円は、これまで過去最高だった前年度の年間売上を更新し、2年連続で過去最高を記録した。加えて、第15回開催においては前年度更新した地方競馬1開催の売上記録をさらに更新し、合計売上262億7,112万3,330円となった。また、令和4年度決算に基づく主催者たる特別区への分配金は、前年度と同様1区あたり6億円、計138億円であり、増大する行政需要に対応するための重要な財源となっている。

公営競技全体では令和5年度減収に転じた競技があるなかで、売上を更新したことは、地方所属馬では史上初のアメリカGI競走出場を果たしたマンダリンヒーロー号の活躍、ダート競馬の祭典「JBC競走」の開催、令和6年の実施に向けた「3歳ダート三冠競走」の広告宣伝活動の展開など、大井競馬の魅力国内外に発信し、各種施策を総合的に取り組んできた結果であり、評価するところである。

今後とも社会経済活動などの動きを注視し、余暇活動に与える影響等を慎重に見極め、新たな視点も含めて広く議論し、営業成績の更なる向上と経営基盤の一層の強化を期待するものである。

3 財政状況

令和5年度末と令和4年度末の比較貸借対照表(19頁、表13)を見ると、令和5年度末の「資産合計」並びに「負債及び資本合計」は、それぞれ799億4,563万4,842円で前年度末に比べ49億6,630万5,468円の増である。

負債合計は198億3,497万6,230円で、前年度末に比べ6億7,108万8,865円の増となったが、特別区への分配金の支払時期が令和6年度当初であること、売得金の増加に伴い、法定負担となる公営競技納付金が引き上げられるために引当金が増加したものであり、財政上特段の問題はない。

一方、資産の状況に着目すると、固定資産は前年度比14.9%増、流動資産は同4%の増、資産合計は前年度比6.6%の増となっている。

流動資産は593億4,506万2,674円で流動負債184億1,101万6,479円を大きく上回り、純利益の増加が継続していることとあわせて、きわめて良

好な財政状況である。

また、キャッシュ・フローは業務活動(+)・投資活動(+)
・財務活動(-)という状況である。

なお、ここ数年の純利益の急増に伴い、利益剰余金の増大が著しい。令和5年度末未処分利益剰余金は524億2,855万円余に達しており、内部留保としては非常に大きな金額である。この中から特別区分配金として1区あたり6億円計138億円と、施設整備等積立金の積立てが、議会の議決による処分額として提案される予定であり、特別区への財政的な寄与や大井競馬場の施設整備に備える意味で、大いに評価するところである。

数年来、決算審査意見書の中で提案してきた「特別区競馬組合中期経営計画(令和6年度～9年度)」が、昨年度末に策定された。先行き不透明な社会経済状況の中で、大規模な施設再整備を控え、安定的・持続的な経営を行なっていくためには、本計画に示された目標を着実に達成していくことが求められる。本計画をもとに各種施策の実行、改善、進行状況の確認を常に行い、PDCAサイクルを継続的に循環させた経営を行っていく必要がある。

4 経営体質の改善

地方競馬を取り巻く状況は、今後厳しさを増してくると予想される。従来の発想や経営方針を見直し、業務の改善を行っていかねばならない。そのための方策として、コスト意識の喚起と積極的な情報公開を進めるべきである。

第一にコスト意識の喚起についてである。

什器備品の購入については、年度の後半に多くなる傾向が見られる。什器備品にかかる予算は、一部を除き算出基礎明細が示されておらず、柔軟な購入が可能になっており、安易な備品購入になりかねない。また備品を購入しても、古い備品の撤去費用が予算化されておらず、流用対応した例もある。必要な予算は適正に執行すべきであるし、必要な備品等は適切に購入すべきであるが、それは予算に基づいて執行することが原則である。予算編成にあたっては、事業計画の策定や見積りを慎重に行われたい。

また契約について、これまでも改善を求めてきた経緯があるが、随意契約（業者指定）の割合が契約全体の中で非常に高く、さらに入札や見積合わせによる契約でも一者入札や一者見積が目立つ。随意契約が多い点については、競馬事業の特殊性を考慮しても課題がある。広く業者を募集し、公平性・透明性のある入札により競争性のある制度運用を望むものである。

さらに、広告宣伝費の中で基本広報活動と重複する内容を含む事業を、基本広報活動受託事業者に別の契約で委託している。これについては基本広報活動事業の中で、効率的・効果的に行うべきである。

以上、コスト意識の喚起すべき例として数点挙げたが、組織全体でコスト意識を持って業務を執行することが、強固な経営基盤づくりにつながると考える。ムダ・ムラ・ムリを排除し、業務の効率化を推進していただきたい。

二点目として、情報公開についてである。競馬事業は勝馬投票券購入者だけでなく、競馬関係者、他の競馬主催者、地域、さらに当組合を構成する特別区の区民など立場やニーズの異なる多くの利害関係者が存在する。各々が競馬に関心を持ち、各々の満足度を高めていくことが持続可能な経営につながると考える。そのためには当組合の経営方針や財政状況、経営成績など基本となる情報を積極的に公開し、関係者の意見も聞きながら経営の透明性を高める努力がなされることを期待する。

5 東京都競馬株式会社との関係

昨年度当組合は東京都競馬株式会社より「小林牧場厩舎関係者職員住宅に用いる土地」(所在：千葉県印西市小林字稲荷谷 1831 番 5、面積：2933.32 m²)を 9,507 万円で購入している。そもそも現行の厩舎関係者住宅については、大井競馬場内・小林牧場内どちらも同株式会社が所有し、関係者に賃貸している。大井競馬場の運営については、同株式会社が競馬場その他競馬にかかる必要な施設を所有・整備し、当組合や関係者はこれらを賃借して競馬事業を運営するという役割分担となっている。この関係から鑑みると、今回の土地の購入については、同株式会社が購入すべきものであろう。加えて、この土地については同株式会社が従前の所有者から直前に購入し、土壌汚

染等の必要な調査も行い、同株式会社に所有権を移転し、そのうえで当組合に売却したものである。同株式会社が土地を所有し、住宅建設を行い、関係者への賃貸を検討すべきであった。当組合は今回のような規模の土地の所有や管理、さらに将来的には住宅建設、管理までを行うことは経験がなく、その負担は非常に大きいものがある。土地の所有と住宅建設・管理を当組合が行うことについては、両者の役割分担と異なるものである。

さらに当組合事務室の改修工事についてである。当組合は、令和4年度から効率的な事務執行を目指して事務室のフリーアドレス化を順次進め、そのために事務室の改修工事が行われてきた。当組合の事務室についても同株式会社から賃借しており、フリーアドレス化のための事務室の改修工事については、令和5年3月分は同株式会社が行っているが、令和5年10月分については当組合で改修工事を行っている。さらに令和6年3月分については、再び同株式会社で行っている。同株式会社が持つ施設改善予算で事務室の改修工事が行えるよう、当組合としても計画的な改修予定を示すべきであった。また、当組合の改修工事の際には、同株式会社の指定の改修業者に委託して行っていることを申し添えておく。

以上、同株式会社と当組合の役割分担の考え方が変更されつつあるのではないかと危惧するものである。今後大規模な施設の再整備を控えているなかで、両者の役割を再度確認しつつ、協議を進めていくことを望みたい。

第4 決算の概要

1 事業実績について

(1) 競馬開催事業

大井競馬の開催は、19回、99日間で、前年度と比べ開催数は同数、日数は2日増である。内訳は、夜間開催が15回、80日間、昼間開催が3回、15日間、JBC開催が1回、1日、年末開催が1回、3日間である(表5)。

表5 大井競馬開催状況

区 分	回	日	総利用人員 (人)	売得金額 (円)	対前年度増△減率	
					総利用 人員(%)	売得金額 (%)
令和5年度	19	99	22,516,996	207,078,964,150	7.2	5.9
夜間開催	15	80	17,311,366	154,421,884,020	2.2	1.5
昼間開催	3	15	2,872,006	25,149,473,490	10.0	△4.3
JBC開催	(1)	1	717,605	7,875,553,780	皆増	皆増
年末開催	1	3	1,616,019	19,632,052,860	10.8	14.9
令和4年度	19	97	21,009,445	195,457,236,170	10.9	6.9
夜間開催	15	79	16,939,941	152,084,811,830	13.5	8.7
昼間開催	3	15	2,611,609	26,281,674,900	△1.5	0.3
JBC開催	—	—	—	—	—	—
年末開催	1	3	1,457,895	17,090,749,440	6.8	1.7
増△減	0	2	1,507,551	11,621,727,980		

※ 売得金額とは、勝馬投票券発売収入から競走除外等に伴う返還金を控除したものである。

※ 総利用人員とは、大井本場、各場外発売所、在宅投票等の入場・利用人員数の計である。

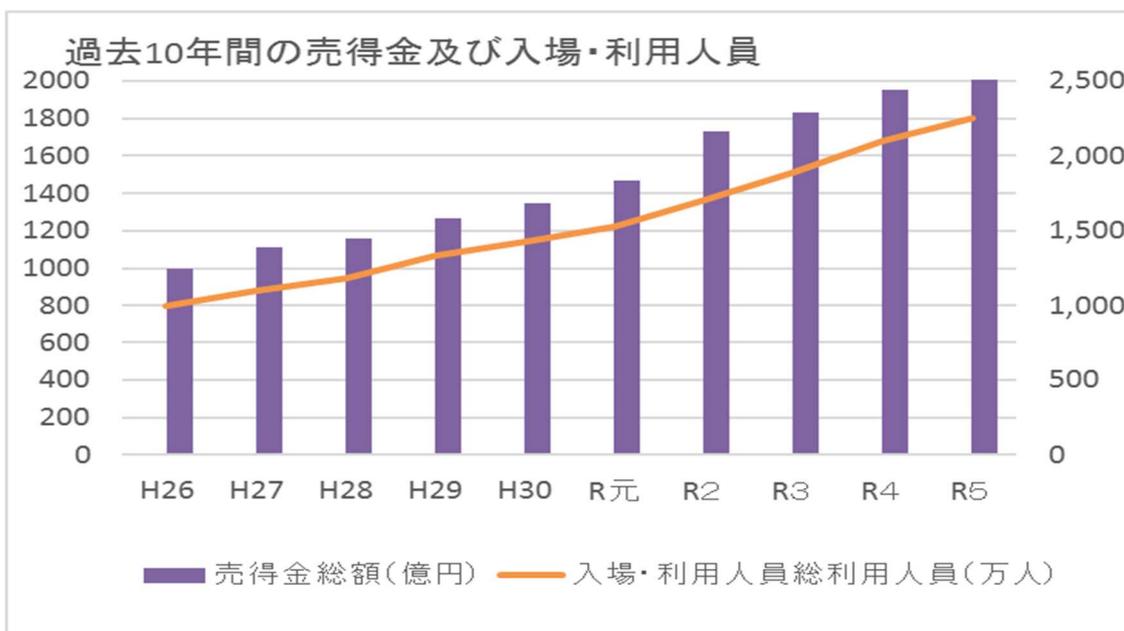
※ JBC開催(1回)は、第12回開催(夜間開催に計上)の中で6日目(11月3日)に実施された。

売得金総額は、2,070億7,896万4,150円、前年度に比べ116億2,172万7,980円（5.9%）の増、1日平均売得金額は20億9,170万6,710円、前年度に比べ7,668万3,660円（3.8%）の増である。

また、総利用人員は、2,251万6,996人、前年度比7.2%の増である。売得金、総利用人員ともに、過去10年間で最大となっている（表6）。

表6 過去10年間の売得金及び入場・利用人員

年度	開催日数	売得金		入場・利用人員		1人当たり売得金(円)
		総額(円)	1日平均(円)	総利用人員(人)	1日平均(人)	
H26	103	100,127,047,860	972,107,260	9,967,213	96,769	10,050
H27	98	111,172,812,080	1,134,416,450	10,996,754	112,212	10,110
H28	97	115,907,917,950	1,194,926,990	11,825,866	121,916	9,800
H29	97	126,642,479,360	1,305,592,570	13,318,796	137,307	9,510
H30	99	134,990,933,050	1,363,544,780	14,257,602	144,016	9,470
R元	96	146,793,605,910	1,529,100,060	15,263,094	158,991	9,620
R2	99	172,856,257,370	1,746,022,800	17,038,609	172,107	10,140
R3	97	182,864,711,820	1,885,203,210	18,940,086	195,259	9,650
R4	97	195,457,236,170	2,015,023,050	21,009,445	216,592	9,300
R5	99	207,078,964,150	2,091,706,710	22,516,996	227,444	9,200



発売場所別売得金額では、大井本場が78億3,195万1,400円、前年度と比べ18億9,107万7,700円(31.8%)の増、場外発売全体が192億442万7,300円、前年度と比べ1億6,089万7,600円(0.8%)の増である。

一方、SPAT4、楽天、JRAネット投票を合わせた在宅投票の売得金額は1,800億4,258万5,450円、前年度と比べ95億6,975万2,680円(5.6%)の増と伸びている。

売得金の発売場所ごとの占有率を見ると、大井本場は3.8%、場外発売全体は9.3%、在宅投票の合計は86.9%となっている(表7)。

表7 売得金状況(発売場所別) (単位:円・%)

区 分	令和5年度		令和4年度		対前年度増△減	
	売得金額	占有率	売得金額	占有率	金 額	増△減率
売得金総額 (a)+(b)+(c)	207,078,964,150	100.0	195,457,236,170	100.0	11,621,727,980	5.9
大井本場 (a)	7,831,951,400	3.8	5,940,873,700	3.0	1,891,077,700	31.8
場外 (b)	19,204,427,300	9.3	19,043,529,700	9.7	160,897,600	0.8
オフト後楽園	2,972,444,800	1.4	3,281,676,700	1.7	△ 309,231,900	△ 9.4
オフト汐留	613,547,500	0.3	240,879,300	0.1	372,668,200	154.7
オフト京王閣	355,881,300	0.2	383,649,600	0.2	△ 27,768,300	△ 7.2
オフト伊勢崎	237,521,800	0.1	209,258,100	0.1	28,263,700	13.5
オフトひたちなか	449,445,400	0.2	450,475,600	0.2	△ 1,030,200	△ 0.2
オフト大郷	431,715,500	0.2	370,940,800	0.2	60,774,700	16.4
新潟地区	643,417,000	0.3	679,704,600	0.4	△ 36,287,600	△ 5.3
益田場外	87,971,000	0.0	119,273,700	0.1	△ 31,302,700	△ 26.2
山形地区	696,136,900	0.3	741,213,600	0.4	△ 45,076,700	△ 6.1
浦和場外	718,131,500	0.3	572,515,100	0.3	145,616,400	25.4
船橋場外	1,591,029,100	0.8	1,627,859,900	0.8	△ 36,830,800	△ 2.3
川崎場外	1,636,422,300	0.8	1,823,524,500	0.9	△ 187,102,200	△ 10.3
広域場外	8,770,763,200	4.2	8,542,558,200	4.4	228,205,000	2.7
在宅投票 (c)	180,042,585,450	86.9	170,472,832,770	87.2	9,569,752,680	5.6
SPAT4	112,780,763,150	54.5	107,893,112,670	55.2	4,887,650,480	4.5
JRA ネット投票	36,140,316,200	17.5	30,976,472,500	15.8	5,163,843,700	16.7
楽天	31,121,506,100	15.0	31,603,247,600	16.2	△ 481,741,500	△ 1.5

※ 広域場外については、オッズパーク売得金額を含む。

※ 益田場外発売所は令和6年3月26日をもって廃止した。

(2) 場間場外発売事業 (表8)

他地区競馬の大井競馬場等場外発売は、売得金額合計が970億9,183万6,780円で、これに対する業務協力収入は111億7,336万6,561円である。

売得金額、業務協力収入とも約80%が、SPAT4の発売によるものである。

表8 他地区競馬場外発売実績表

(単位：円・%)

区分	売得金額	構成比	業務協力収入	構成比	備考 (発売場所等)	
大井競馬場等 場外発売 (SPAT4 除く)	18,700,449,600	19.3	2,294,991,882	20.5		
主催者(本場)別内訳	南関東	8,887,463,500	9.2	1,554,870,284	13.9	大井競馬場、オト後樂園、オト京王閣、オト伊勢崎、オトひたちなか、オト大郷、新潟地区、益田場外、山形地区で発売
	浦和	2,697,193,200	2.8	472,451,229	4.2	
	船橋	2,878,984,200	3.0	502,749,249	4.5	
	川崎	3,311,286,100	3.4	579,669,806	5.2	
	ふるさとコーナー	-	-	-	-	令和5年度は、広域本場ふるさと場外の発売無。 (R5.9.30 営業終了)
	帯広(ばんえい)	-	-	-	-	
	北海道	-	-	-	-	
	愛知県	-	-	-	-	
	その他地方競馬	1,068,651,000	1.1	145,506,820	1.3	大井競馬場、オト後樂園、オト汐留、オト京王閣、オト伊勢崎、オトひたちなか、オト大郷、新潟地区、益田場外、山形地区で発売
	JRA	8,744,335,100	9.0	594,614,778	5.3	大井競馬場、オトひたちなか、オト大郷、オト伊勢崎、オトオフス中郷、ニュートラックかみのやま、ニュートラック松山で発売
SPAT4 発売	78,391,387,180	80.7	8,878,374,679	79.5	大井開催日等に他広域本場を発売。	
合計	97,091,836,780	100.0	11,173,366,561	100.0		

2 予算執行状況について

(1) 収益的収入 (表 9)

収入合計は2,214億8,100万5,130円で、予算現額に対する収入率は100.2%となっている。

このうち営業収益は、2,208億3,226万1,569円で、予算現額に対する収入率は100.2%である。内訳は、競馬開催収益2,092億9,139万2,055円、場外業務収益114億1,141万971円、その他営業収益1億2,945万8,543円となっている。主な項目では、勝馬投票券発売収入が2,081億2,135万8,690円で、収入全体の94.0%を占めている。その他では、場外業務協力収入が111億7,336万6,561円で、収入全体の5.0%である。

営業外収益は6億4,856万9,768円で、予算現額に対する収入率は101.3%である。主な内訳は、受取利息及び配当金4億3,208万7,002円、長期前受金戻入益1,054万4,966円等となっている。

特別利益は17万3,793円であった。

(2) 収益的支出 (表 10)

収益的支出合計は2,033億8,578万8,527円で、予算現額に対する執行率は96.2%となっている。

このうち営業費用は2,023億4,044万8,264円で、予算現額に対する執行率は96.7%である。内訳は、競馬開催費用1,954億6,300万8,450円、場間場外費用62億4,185万51円、一般管理費2億6,321万5,296円、償却費3億7,237万4,467円である。

競馬開催費用の主な項目は、勝馬投票券払戻金が1,530億8,091万6,011円で支出全体の75.3%を占めている。その他では、賞典費133億1,909万3,436円(全体に対する構成比6.5%)、競馬場等借上費78億8,118万9,453円(同3.9%)、場外業務運営費75億2,325万5,373円(同3.7%)等である。

場間場外費用の主な項目は、競馬場等借上費38億9,487万2,099円、場間場外総務費14億5,251万4,051円等である。

営業外費用は10億844万2,905円で、予算現額に対する執行率は

98.4%である。主な内訳は、株式配当金配分金 3 億 928 万 8,510 円、
公課費（消費税）4 億 6,743 万 7,628 円である。

特別損失は 3,689 万 7,358 円で、内容は固定資産除却損である。

表 9 令和 5 年度収益的収入（予算現額との比較）

（単位：円・％）

科 目	予算現額	決算額	構成比	予算現額と 決算額との比較	収入率
1 営業収益	220,493,410,000	220,832,261,569	99.7	338,851,569	100.2
1 競馬開催収益	209,506,177,000	209,291,392,055	94.5	△ 214,784,945	99.9
1 勝馬投票券発売収入	208,502,464,000	208,121,358,690	94.0	△ 381,105,310	99.8
2 入場料	18,120,000	28,693,500	0.0	10,573,500	158.4
3 使用料	13,305,000	12,920,600	0.0	△ 384,400	97.1
4 申込料	23,085,000	23,616,000	0.0	531,000	102.3
5 財産収入	102,766,000	96,638,595	0.0	△ 6,127,405	94.0
6 交流競走協力金	481,200,000	483,925,000	0.2	2,725,000	100.6
7 時効金	194,017,000	95,387,750	0.0	△ 98,629,250	49.2
8 事故収入	1,000	356,670	0.0	355,670	35,667.0
9 その他競馬開催収益	171,219,000	428,495,250	0.2	257,276,250	250.3
2 場外業務収益	10,862,294,000	11,411,410,971	5.2	549,116,971	105.1
1 場外業務協力収入	10,706,800,000	11,173,366,561	5.0	466,566,561	104.4
2 財産収入	2,353,000	3,033,548	0.0	680,548	128.9
3 その他場外業務収益	153,141,000	235,010,862	0.1	81,869,862	153.5
3 その他営業収益	124,939,000	129,458,543	0.1	4,519,543	103.6
1 財産収入	124,529,000	128,500,656	0.1	3,971,656	103.2
2 分担金及び負担金	1,000	0	0.0	△ 1,000	0.0
3 その他営業収益	409,000	957,887	0.0	548,887	234.2
2 営業外収益	640,073,000	648,569,768	0.3	8,496,768	101.3
1 受取利息及び配当金	422,962,000	432,087,002	0.2	9,125,002	102.2
1 受取利息	113,674,000	122,798,492	0.1	9,124,492	108.0
2 利子及び配当金	309,288,000	309,288,510	0.1	510	100.0
2 分担金及び負担金	1,000	0	0.0	△ 1,000	0.0
1 特別区分担金	1,000	0	0.0	△ 1,000	0.0
3 補助金	205,121,000	203,572,000	0.1	△ 1,549,000	99.2
1 競馬活性化事業補助金	205,121,000	203,572,000	0.1	△ 1,549,000	99.2
4 還付金	1,000	0	0.0	△ 1,000	0.0
1 消費税還付金	1,000	0	0.0	△ 1,000	0.0
5 長期前受金戻入益	10,486,000	10,544,966	0.0	58,966	100.6
1 長期前受金戻入益	10,486,000	10,544,966	0.0	58,966	100.6
6 雑収益	1,502,000	2,365,800	0.0	863,800	157.5
1 寄付金	1,500,000	1,534,000	0.0	34,000	102.3
2 その他雑収益	2,000	831,800	0.0	829,800	41,590.0
3 特別利益	3,000	173,793	0.0	170,793	5,793.1
1 固定資産売却益	1,000	173,793	0.0	172,793	17,379.3
1 固定資産売却益	1,000	173,793	0.0	172,793	17,379.3
2 過年度修正益	1,000	0	0.0	△ 1,000	0.0
1 過年度修正益	1,000	0	0.0	△ 1,000	0.0
3 その他特別利益	1,000	0	0.0	△ 1,000	0.0
1 その他特別利益	1,000	0	0.0	△ 1,000	0.0
合 計	221,133,486,000	221,481,005,130	100.0	347,519,130	100.2

表 10 令和5年度収益的支出（予算現額との比較）

（単位：円・％）

科 目	予算現額	決算額	構成比	不用額	執行率
1 営業費用	209,291,055,000	202,340,448,264	99.5	6,950,606,736	96.7
1 競馬開催費用	201,474,134,000	195,463,008,450	96.1	6,011,125,550	97.0
1 1 常勤職員人件費	776,670,000	693,391,989	0.3	83,278,011	89.3
2 会計年度任用職員人件費	111,843,000	75,098,835	0.0	36,744,165	67.1
3 開催総務費	1,842,345,000	1,375,723,717	0.7	466,621,283	74.7
4 広告宣伝費	2,644,933,000	2,388,258,489	1.2	256,674,511	90.3
5 競走管理費	1,089,385,000	824,675,902	0.4	264,709,098	75.7
6 投票管理費	951,732,000	727,225,995	0.4	224,506,005	76.4
7 警備管理費	185,386,000	132,230,901	0.1	53,155,099	71.3
8 厩舎管理費	500,298,000	451,590,201	0.2	48,707,799	90.3
9 賞典費	14,812,037,000	13,319,093,436	6.5	1,492,943,564	89.9
1 0 勝馬投票券払戻金	153,080,917,000	153,080,916,011	75.3	989	100.0
1 1 返還金	1,937,410,000	1,042,394,540	0.5	895,015,460	53.8
1 2 勝馬投票券発売施設 所在区市町村交付金	373,419,000	370,825,701	0.2	2,593,299	99.3
1 3 地方競馬全国協会交付金	2,884,857,000	2,884,855,481	1.4	1,519	100.0
1 4 公営競技納付金	1,000	0	0.0	1,000	0.0
1 5 主催者協議会負担金	2,114,834,000	1,666,270,170	0.8	448,563,830	78.8
1 6 競馬場等借上費	8,546,230,000	7,881,189,453	3.9	665,040,547	92.2
1 7 場外業務運営費	8,595,091,000	7,523,255,373	3.7	1,071,835,627	87.5
1 8 事故補填金	732,000	0	0.0	732,000	0.0
1 9 引当金繰入額	1,026,014,000	1,026,012,256	0.5	1,744	100.0
2 場間場外費用	7,101,982,000	6,241,850,051	3.1	860,131,949	87.9
1 場間場外総務費	1,798,028,000	1,452,514,051	0.7	345,513,949	80.8
2 場間場外投票費	230,434,000	203,818,145	0.1	26,615,855	88.4
3 場間場外警備費	2,971,000	1,772,213	0.0	1,198,787	59.7
4 勝馬投票券発売施設 所在区市町村交付金	160,693,000	126,491,589	0.1	34,201,411	78.7
5 競馬場等借上費	4,213,879,000	3,894,872,099	1.9	319,006,901	92.4
6 場間場外業務運営費	695,977,000	562,381,954	0.3	133,595,046	80.8
3 一般管理費	322,843,000	263,215,296	0.1	59,627,704	81.5
1 議会費	49,551,000	42,220,557	0.0	7,330,443	85.2
2 総務費	248,279,000	197,752,106	0.1	50,526,894	79.6
3 監査委員費	15,827,000	14,059,419	0.0	1,767,581	88.8
4 公平委員会費	1,000	0	0.0	1,000	0.0
5 引当金繰入額	9,185,000	9,183,214	0.0	1,786	100.0
4 償却費	392,096,000	372,374,467	0.2	19,721,533	95.0
1 有形固定資産減価償却費	378,412,000	361,073,947	0.2	17,338,053	95.4
2 無形固定資産減価償却費	13,684,000	11,300,520	0.0	2,383,480	82.6
2 営業外費用	1,024,651,000	1,008,442,905	0.5	16,208,095	98.4
1 支払利息	1,000	0	0.0	1,000	0.0
1 1 支払利息	1,000	0	0.0	1,000	0.0
2 株式配当金配分金	309,290,000	309,288,510	0.2	1,490	100.0
1 株式配当金配分金	309,290,000	309,288,510	0.2	1,490	100.0
3 公課費	482,094,000	467,437,628	0.2	14,656,372	97.0
1 消費税	482,094,000	467,437,628	0.2	14,656,372	97.0
4 その他営業外費用	233,266,000	231,716,767	0.1	1,549,233	99.3
1 その他営業外費用	233,266,000	231,716,767	0.1	1,549,233	99.3
3 特別損失	30,492,000	36,897,358	0.0	△ 6,405,358	121.0
1 固定資産除却損	30,490,000	36,897,358	0.0	△ 6,407,358	121.0
1 1 固定資産除却損	30,490,000	36,897,358	0.0	△ 6,407,358	121.0
2 過年度修正費用	1,000	0	0.0	1,000	0.0
1 過年度修正費用	1,000	0	0.0	1,000	0.0
3 その他特別損失	1,000	0	0.0	1,000	0.0
1 その他特別損失	1,000	0	0.0	1,000	0.0
4 予備費	984,979,000	0	0.0	984,979,000	0.0
1 予備費	984,979,000	0	0.0	984,979,000	0.0
1 1 予備費	984,979,000	0	0.0	984,979,000	0.0
合 計	211,331,177,000	203,385,788,527	100.0	7,945,388,473	96.2

(3) 資本的収入及び支出 (表 11)

資本的収入は、1 億 1,265 万 7,941 円である。

資本的支出は、9 億 9,136 万 3,800 円である。内訳は、施設整備費が 8 億 9,629 万 3,800 円で、予算現額に対する執行率は 94.1%、土地整備費が 9,507 万円で、予算現額に対する執行率は 79.2%となっている。

資本的収入及び支出の差額 8 億 7,870 万 5,859 円は、損益勘定留保資金で補填されている (令和 5 年議案第 4 号)。

表 11 令和 5 年度資本的収入及び支出

(単位：円・%)

資本的収入

科 目			予算現額	決算額	構成比	予算現額と 決算額との 比較	収入率
款	項	目					
1	資本的収入		107,753,000	112,657,941	100.0	4,904,941	104.6
	1	補助金	107,752,000	110,920,000	98.5	3,168,000	102.9
		1 競馬活性化 事業補助金	107,751,000	110,920,000	98.5	3,169,000	102.9
		2 特別振興資金	1,000	0	0.0	△1,000	0.0
	2	固定資産売却代金	1,000	1,737,941	1.5	1,736,941	173,794.1
		1 有形固定資産 売却代金	1,000	1,737,941	1.5	1,736,941	173,794.1
合計			107,753,000	112,657,941	100.0	4,904,941	104.6

資本的支出

(単位：円・%)

科 目			予算現額	決算額	構成比	不用額	執行率
款	項	目					
1	資本的支出		1,072,913,000	991,363,800	100.0	81,549,200	92.4
	1	建設改良費	1,072,913,000	991,363,800	100.0	81,549,200	92.4
		1 施設整備費	952,913,000	896,293,800	90.4	56,619,200	94.1
		2 土地整備費	120,000,000	95,070,000	9.6	24,930,000	79.2
合計			1,072,913,000	991,363,800	100.0	81,549,200	92.4

3 経営成績（前年度比較）について（表 12）

（1）営業収益及び営業費用

営業収益 2,208 億 3,226 万 1,569 円は、前年度と比べ 115 億 3,800 万 2,010 円（5.5%）の増、営業費用 2,023 億 4,044 万 8,264 円は、同 113 億 9,912 万 646 円（6.0%）の増となっている。

営業収益から営業費用を差し引いた営業損益は、184 億 9,181 万 3,305 円の営業利益となり、前年度と比べ 1 億 3,888 万 1,364 円（0.8%）の増である。

（2）営業外収益及び営業外費用

営業外収益 6 億 4,856 万 9,768 円は、前年度と比べ 2 億 5,290 万 1,001 円（63.9%）の増、営業外費用 10 億 844 万 2,905 円は、同 2 億 8,381 万 4,102 円（39.2%）の増となっている。両者の差引額に営業損益を加えた経常損益は、181 億 3,194 万 168 円の経常利益である。

（3）特別利益及び特別損失

特別利益は 17 万 3,793 円で、前年度と比べ皆増、特別損失 3,689 万 7,358 円は、同 3,508 万 7,574 円の増となっている。両者の差引額に経常損益を加えた当年度純損益は、180 億 9,521 万 6,603 円の純利益となる（前年度に比べ 7,305 万 4,482 円（0.4%）の増）。

当年度純利益 180 億 9,521 万 6,603 円に前年度繰越利益剰余金 343 億 3,333 万 5,327 円を加えた当年度未処分利益剰余金は、524 億 2,855 万 1,930 円となった。

表 12 比較損益計算書

(単位：円・%)

科 目	令和5年度	令和4年度	増(△)減	
	金 額 (A)	金 額 (B)	金 額 (C=A-B)	増(△)減 率 (C/B×100)
1 営業収益	220,832,261,569	209,294,259,559	11,538,002,010	5.5
競馬開催収益	209,291,392,055	197,714,501,646	11,576,890,409	5.9
場外業務収益	11,411,410,971	11,481,844,648	△ 70,433,677	△ 0.6
その他営業収益	129,458,543	97,913,265	31,545,278	32.2
2 営業費用	202,340,448,264	190,941,327,618	11,399,120,646	6.0
競馬開催費用	195,463,008,450	184,441,949,038	11,021,059,412	6.0
場間場外費用	6,241,850,051	5,878,440,881	363,409,170	6.2
一般管理費	263,215,296	194,165,384	69,049,912	35.6
償却費	372,374,467	426,772,315	△ 54,397,848	△ 12.7
3 営業損益(1-2)	18,491,813,305	18,352,931,941	138,881,364	0.8
4 営業外収益	648,569,768	395,668,767	252,901,001	63.9
受取利息及び配当金	432,087,002	362,018,984	70,068,018	19.4
分担金及び負担金	0	0	0	-
補助金	203,572,000	18,222,000	185,350,000	1,017.2
還付金	0	0	0	-
長期前受金戻入益	10,544,966	12,647,089	△ 2,102,123	△ 16.6
雑収益	2,365,800	2,780,694	△ 414,894	△ 14.9
5 営業外費用	1,008,442,905	724,628,803	283,814,102	39.2
支払利息	0	0	0	-
株式配当金配分金	309,288,510	257,740,425	51,548,085	20.0
公課費	467,437,628	415,966,000	51,471,628	12.4
その他営業外費用	231,716,767	50,922,378	180,794,389	355.0
6 経常損益(3+4-5)	18,131,940,168	18,023,971,905	107,968,263	0.6
7 特別利益	173,793	0	173,793	皆増
固定資産売却益	173,793	0	173,793	皆増
過年度修正益	0	0	0	-
その他特別利益	0	0	0	-
8 特別損失	36,897,358	1,809,784	35,087,574	1,938.8
固定資産除却損	36,897,358	1,809,784	35,087,574	1,938.8
過年度修正費用	0	0	0	-
その他特別損失	0	0	0	-
9 当年度純損益(6+7-8)	18,095,216,603	18,022,162,121	73,054,482	0.4
10 前年度繰越利益剰余金	34,333,335,327	34,333,335,327	0	0.0
11 その他未処分利益剰余金	0	0	0	-
12 当年度未処分利益剰余金 (9+10+11)	52,428,551,930	52,355,497,448	73,054,482	0.1

4 財政状態について (表 13)

(1) 資産

資産合計は 799 億 4,563 万 4,842 円で、前年度末と比較して 49 億 6,630 万 5,468 円 (6.6%) の増となっている。

固定資産は 206 億 57 万 2,168 円で、前年度末と比べ 26 億 7,247 万 7,516 円 (14.9%) の増である。主な増減の内訳は、有形固定資産のうち什器備品が 5 億 9,546 万 5,324 円の増、土地が 9,507 万円の増、機械装置が 1,753 万 4,851 円の増、建物附属設備が 1 億 467 万 8,727 円の減、リース資産が 1,561 万 6,974 円の減、投資等その他の資産は、投資有価証券が 21 億 5 万円の増となっている。

また、流動資産は 593 億 4,506 万 2,674 円で、前年度末と比べ 22 億 9,382 万 7,952 円 (4.0%) の増である。主な増減の内訳は、現金預金が 75 億 7,879 万 5,030 円の増、有価証券が 49 億 62 万 5,340 円の減、未収金が 5 億 4,576 万 8,598 円の減、前払金が 2,613 万 8,030 円の減、仮払金が 2 億 6,972 万 9,360 円の増となっている。

(2) 負債及び資本

負債合計は 198 億 3,497 万 6,230 円で、前年度末と比べ 6 億 7,108 万 8,865 円 (3.5%) の増、資本合計は 601 億 1,065 万 8,612 円で、同 42 億 9,521 万 6,603 円 (7.7%) の増となっている。

負債の増額の主な要因は、未払金が 4 億 4,311 万 7,456 円、公営競技納付金 9 億 2,063 万 1,696 円を含む引当金が 1 億 1,539 万 3,044 円の増となったためである。

表 13 比較貸借対照表

(資産の部)

(単位:円・%)

科	目	令和5年度		令和4年度		増(△)減	
		金額 (A)	構成比	金額 (B)	構成比	金額 (C=A-B)	増(△)減率 (C/B×100)
固定資産		20,600,572,168	25.8	17,928,094,652	23.9	2,672,477,516	14.9
	有形固定資産	3,377,595,208	4.2	2,793,867,172	3.7	583,728,036	20.9
	土地	1,564,097,588	2.0	1,469,027,588	2.0	95,070,000	6.5
	建物附属設備	255,296,483	0.3	359,975,210	0.5	△ 104,678,727	△ 29.1
	構築物	67,224,002	0.1	71,202,940	0.1	△ 3,978,938	△ 5.6
	機械装置	27,103,243	0.0	9,568,392	0.0	17,534,851	183.3
	車両運搬具	708,121	0.0	708,121	0.0	0	0.0
	什器備品	1,419,700,300	1.8	824,234,976	1.1	595,465,324	72.2
	生物	108,750	0.0	176,250	0.0	△ 67,500	△ 38.3
	リース資産	43,356,721	0.1	58,973,695	0.1	△ 15,616,974	△ 26.5
	無形固定資産	37,718,560	0.0	49,019,080	0.1	△ 11,300,520	△ 23.1
	無形固定資産(ソフトウェア)	37,718,560	0.0	49,019,080	0.1	△ 11,300,520	△ 23.1
	投資等その他の資産	17,185,258,400	21.5	15,085,208,400	20.1	2,100,050,000	13.9
	関係会社株式	735,258,400	0.9	735,258,400	1.0	0	0.0
	出資金	100,000,000	0.1	100,000,000	0.1	0	0.0
	投資有価証券	16,350,000,000	20.5	14,249,950,000	19.0	2,100,050,000	14.7
流動資産		59,345,062,674	74.2	57,051,234,722	76.1	2,293,827,952	4.0
	現金預金	23,933,186,581	29.9	16,354,391,551	21.8	7,578,795,030	46.3
	現金	0	0.0	0	0.0	0	-
	預金	23,933,186,581	29.9	16,354,391,551	21.8	7,578,795,030	46.3
	有価証券	22,196,096,779	27.8	27,096,722,119	36.1	△ 4,900,625,340	△ 18.1
	有価証券	22,196,046,779	27.8	27,096,677,679	36.1	△ 4,900,630,900	△ 18.1
	有価証券評価損益	50,000	0.0	44,440	0.0	5,560	12.5
	未収金	8,965,790,843	11.2	9,511,559,441	12.7	△ 545,768,598	△ 5.7
	貯蔵品	25,990,523	0.0	31,154,993	0.0	△ 5,164,470	△ 16.6
	投票券本券用紙	14,753,404	0.0	17,037,994	0.0	△ 2,284,590	△ 13.4
	マークカード	10,394,149	0.0	12,755,189	0.0	△ 2,361,040	△ 18.5
	その他貯蔵品	842,970	0.0	1,361,810	0.0	△ 518,840	△ 38.1
	前払金	300,938	0.0	26,438,968	0.0	△ 26,138,030	△ 98.9
	仮払金	4,223,697,010	5.3	3,953,967,650	5.3	269,729,360	6.8
	前払費用	0	0.0	77,000,000	0.1	△ 77,000,000	△ 100.0
資産合計		79,945,634,842	100.0	74,979,329,374	100.0	4,966,305,468	6.6

(負債の部)

(単位:円・%)

科	目	令和5年度		令和4年度		増(△)減	
		金額 (A)	構成比	金額 (B)	構成比	金額 (C=A-B)	増(△)減率 (C/B×100)
固定負債		1,285,294,765	1.6	1,286,189,866	1.7	△ 895,101	△ 0.1
	特別区借入有価証券	687,307,800	0.9	687,307,800	0.9	0	0.0
	リース債務	23,108,711	0.0	35,935,729	0.0	△ 12,827,018	△ 35.7
	引当金	574,878,254	0.7	562,946,337	0.8	11,931,917	2.1
	退職手当引当金	574,878,254	0.7	562,946,337	0.8	11,931,917	2.1
流動負債		18,411,016,479	23.0	17,839,407,547	23.8	571,608,932	3.2
	未払金	17,368,814,922	21.7	16,925,697,466	22.6	443,117,456	2.6
	未払金	3,568,814,922	4.5	3,125,697,466	4.2	443,117,456	14.2
	特別区分配金未払金	13,800,000,000	17.3	13,800,000,000	18.4	0	0.0
	前受金	0	0.0	0	0.0	0	-
	預り金及び預り有価証券	35,941,620	0.0	22,843,188	0.0	13,098,432	57.3
	預り金	35,941,620	0.0	22,843,188	0.0	13,098,432	57.3
	リース債務	12,827,018	0.0	12,827,018	0.0	0	0.0
	引当金	993,432,919	1.2	878,039,875	1.2	115,393,044	13.1
	賞与引当金	60,667,685	0.1	41,984,000	0.1	18,683,685	44.5
	法定福利費引当金	12,133,538	0.0	8,398,000	0.0	3,735,538	44.5
	公営競技納付金引当金	920,631,696	1.2	827,657,875	1.1	92,973,821	11.2
繰延収益		138,664,986	0.2	38,289,952	0.1	100,375,034	262.1
	長期前受金	138,664,986	0.2	38,289,952	0.1	100,375,034	262.1
	助成金(未収益化分)	137,629,084	0.2	35,848,008	0.0	101,781,076	283.9
	受贈財産評価額(未収益化分)	1,035,902	0.0	2,441,944	0.0	△ 1,406,042	△ 57.6
負債合計		19,834,976,230	24.8	19,163,887,365	25.6	671,088,865	3.5

(資本の部)

(単位：円・%)

科 目	令和5年度		令和4年度		増(△)減	
	金額 (A)	構成比	金額 (B)	構成比	金額 (C=A-B)	増(△)減率 (C/B×100)
資本金	3,384,757,377	4.2	3,384,757,377	4.5	0	0.0
自己資本金	3,384,757,377	4.2	3,384,757,377	4.5	0	0.0
固有資本金	3,384,757,377	4.2	3,384,757,377	4.5	0	0.0
剰余金	56,725,901,235	71.0	52,430,684,632	69.9	4,295,216,603	8.2
利益剰余金	56,725,901,235	71.0	52,430,684,632	69.9	4,295,216,603	8.2
前年度繰越利益剰余金	34,333,335,327	42.9	34,333,335,327	45.8	0	0.0
当年度純利益	18,095,216,603	22.6	18,022,162,121	24.0	73,054,482	0.4
利益積立金	75,187,184	0.1	75,187,184	0.1	0	0.0
施設整備等積立金	4,222,162,121	5.3	-	-	皆増	皆増
その他未処分利益剰余金変動額	0	0.0	0	0.0	0	-
資本合計	60,110,658,612	75.2	55,815,442,009	74.4	4,295,216,603	7.7
負債及び資本合計	79,945,634,842	100.0	74,979,329,374	100.0	4,966,305,468	6.6

5 特別区分配金、交付金について

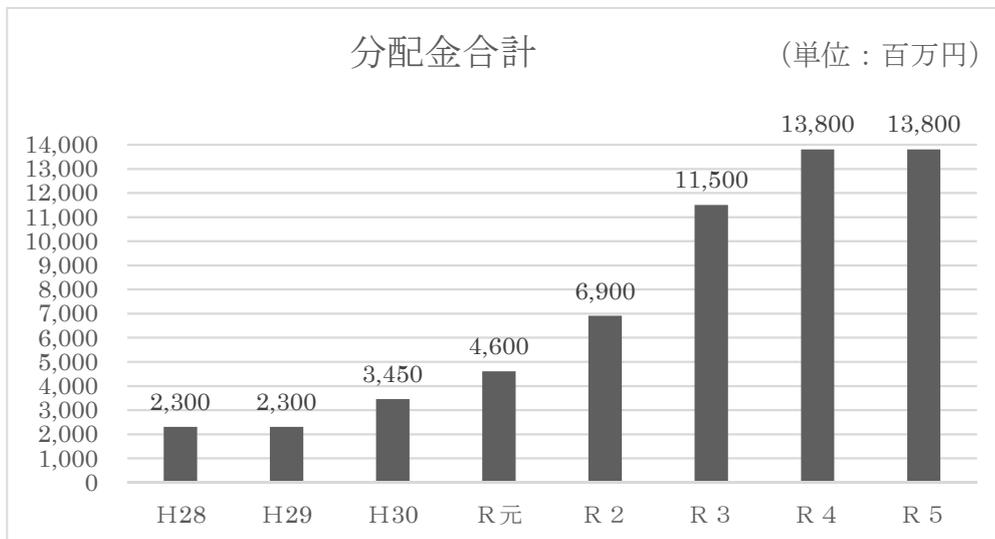
(1) 特別区分配金(表14)

令和4年度末の未処分利益剰余金により、各区に6億円、計138億円を分配している。

表14 特別区分配金の推移

(単位：円)

年度	1区あたり分配金額	計
平成28年度	100,000,000	2,300,000,000
平成29年度	100,000,000	2,300,000,000
平成30年度	150,000,000	3,450,000,000
令和元年度	200,000,000	4,600,000,000
令和2年度	300,000,000	6,900,000,000
令和3年度	500,000,000	11,500,000,000
令和4年度	600,000,000	13,800,000,000
令和5年度	600,000,000	13,800,000,000



(2) 勝馬投票券発売施設所在区市町村交付金 (表 15)

特別区競馬組合勝馬投票券発売施設所在区市町村交付金条例に基づき、競馬場が所在する特別区 (1号交付金) 1区、場外発売所が所在する特別区 (2号交付金) 2区、場外発売所に隣接する特別区 (3号交付金) 1区、市町村場外発売所が所在する市町村 (4号交付金) 9市2町、大井競馬以外の主催者の場外発売実施区市町村 (5号交付金) 3区9市2町及び中央競馬主催の場外発売実施区市町村 (6号交付金) 1区5市1町に対し、計4億9,731万7,290円を交付している。

表 15 勝馬投票券発売施設所在区市町村交付金

(単位：円)

区分	交付額	交付団体				
		品川区	文京区	港区	千代田区	その他の市町村
1号交付金	300,000,000	300,000,000				
2号交付金	35,859,923		29,724,448	6,135,475		
3号交付金	15,386,665				15,386,665	
4号交付金	29,020,889					29,020,889
5号交付金	99,561,145	1,360,817	47,208,884	218,723		50,772,721
6号交付金	17,488,668	134,413				17,354,255
合計	497,317,290	301,495,230	76,933,332	6,354,198	15,386,665	97,147,865

1号交付金…競馬場所在区

2号交付金…東京23区内場外発売所設置区

3号交付金…東京23区内場外発売所隣接区

4号交付金…場外発売所設置市町村

5号交付金…大井競馬以外の主催者の場外発売実施区市町村

6号交付金…中央競馬主催の場外発売実施区市町村

その他市町村…

ひたちなか市 (茨城県)、大郷町 (宮城県)、新潟市・上越市 (新潟県)、福島市・磐梯町 (福島県)、益田市 (島根県)、上山市・酒田市 (山形県)、伊勢崎市 (群馬県)、調布市 (東京都)

資金不足比率審查意見書

令和5年度決算に基づく特別区競馬組合一般会計資金不足比率審査意見書

1 審査の対象

- (1) 令和5年度決算に基づく特別区競馬組合一般会計資金不足比率
- (2) 資金不足比率の算定の基礎となる事項を記載した書類

2 審査の期間

令和6年6月7日（金）から同年9月3日（火）まで

3 審査の方法

資金不足比率が、法令等の規定に基づいて算定され、その算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかについて審査を行った。

4 審査の結果

- (1) 審査に付された資金不足比率は法令等の規定に基づいて算定され、書類が適正に作成されているものと認められる。
- (2) 資金不足比率は、資金の不足額が生じていないので算定されない。

資金不足比率

(単位 %)

区 分	資 金 不 足 比 率
特別区競馬組合一般会計	—

(注) 資金不足比率の「—」は、資金の不足額が生じていないことを示す。